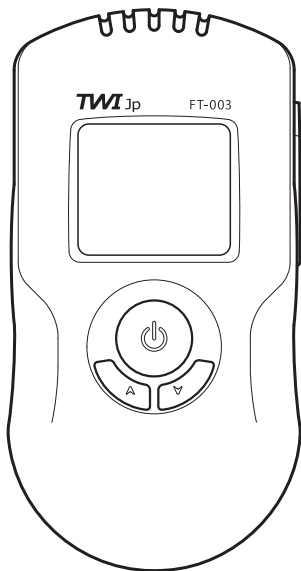
アルコールチェッカー

i-Checker Ⅲ

FT-003（据置型・記録式）

（運行管理者用）

取扱説明書

目　次

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書にはご使用上の注意事項や使用方法が記載されています。
- ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになって正しくお使いください。
- お読みになった後もいつでも見られる場所に大切に保管してください。

概 要

★超高感度半導体ガスセンサー採用

超高感度な半導体ガスセンサーの採用により、高感度測定・長寿命を実現しました。

★かんたん操作

スイッチを押すだけですべての測定が完了するため、初心者でもかんたんに測定することが可能です。

★さまざまな機能

■吹きこみ方法（時間や強さ）のミスによる誤検知や不正防止のため、呼気検知用センサーを搭載し、吹き込みエラー判定をおこないます。

■小型で操作が簡単。

■ USB ケーブルで PC と接続し、測定記録・測定日時・測定者の情報をパソコンに保存できます。

■複数のドライバー情報と各々の測定結果を本体内蔵メモリーに記録できます。

■据置型でも携行型でもどちらでも使用可能です。

■ PC との接続が無くても、本体のみでの測定が可能で、本体内部にもドライバー別に測定日時と結果を合計 3,000 件メモリーすることが可能です。
（1 名登録時 / 約 3,000 件×1名分、5 名登録時 / 約 600 件×5名分、10 名登録時 / 約 300 件×10名分記録可能）

注：本体内部のデータを消去することはできません。
注：3,500 件以上測定された場合、測定はできますがデータは保存されませんので、測定回数が 3,000 件を超えた場合は早急に定期点検を依頼してください。

■パソコン管理ソフト（CSV ファイル出力機能付き）と、パソコン画面で操作状況が確認できるモニタリングソフトが無料で付属しています。

■ドライバーと運行管理者の業務を軽減できます。

■ AC 電源を用意する必要がなく、停電時でも安心して据置型としてのご利用が可能です。（電池式）

■メンテナンス時期を事前にお知らせする機能があります。

注：付属のパソコン管理ソフトは Windows 専用ですので、Macintosh 環境では使用できません。

本製品の特長

■従来製品（ＦＴ－ 001、001A）も併用可能

本製品（FT-003）をご購入いただいた場合、従来製品をお持ちの方は、すでに蓄積されたデータを簡単な初回登録作業だけで本製品の管理ソフトに引き継いで使用することが可能です。
また、従来機種も併用して測定に使用することも可能です。

■本製品を複数台ご利用いただくことで、より効率の高い運用が可能

■登録（入力）作業が非常に簡単

本製品を複数台ご利用いただく際にも、煩雑な登録（入力）作業などを台数分おこなう必要はありません。一度パソコン管理ソフトにご登録いただきますと、本製品を何台増やした場合でも、1台ずつにデータの転送作業をおこなうだけで、全てのチェッカーに全ての登録者情報が転送されます。（個別の登録作業は必要ありません）
よって、運転者と使用するチェッカーを固定する必要はなく、一度自分の登録者情報が転送されたチェッカーであれば、どれでも使用することが可能です。

■ PC への取り込み作業はいつでも可能

本製品にて測定した場合、測定ごとに測定結果（データ）をパソコンに取り込む必要はありませんので、後で一括してデータの取り込み作業をおこなうことが可能です。

注：測定しただけではデータは PC に取り込まれませんのでご注意ください。

■登録からご利用までの流れ

- **パソコン管理ソフトを、ご使用いただきますパソコンにインストールします。（データ管理される PC は必ず1台に限定してください）**
- **従来製品をお持ちの方は、ここでデータや登録情報の引き継ぎをおこない､新たに登録される方は新規で｢運転者登録｣をおこないます。**
- **PC とチェッカーを付属の USB ケーブルで接続（P11 参照）し、登録された運転者情報（運転者 ID など）をチェッカーに転送します。この時、複数台のチェッカーをお持ちの場合は、同じ作業をチェッカーの台数分繰り返してください。**
- **登録されたチェッカーを用いて測定作業をおこなってください。（この際、PC とチェッカーを接続しておく必要はありません）**
- **測定結果（データ）を PC に取り込む場合は、PC とチェッカーを付属の USB ケーブルで接続し、データの転送作業をおこなってください。（付属 CD 内電子マニュアル参照）**

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

●表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を下記の表示で区分しています。

表示	内容
	この表示は、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示は、人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を絵表示で区分して説明しています。

⃠：この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

❗：この表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警 告

禁止

●お酒を飲んで自動車などを運転することは、絶対にしない

・飲酒運転は､その飲酒量にかかわらず法律で禁止されています。
・お酒を飲んでいても、使いかたによっては、本製品で検知できない可能性があります。

●本製品のデータのみでの飲酒判断はしない

・使いかた（測定方法）や機器の故障により正確な測定ができないおそれがあるため、本製品のみでの飲酒の判断はしないでください。（対面確認などを併用してください）
・本製品の測定結果にかかわらず､飲酒者が車両の運転や機器の操作をおこなった場合に発生した問題について､本製品の製造者および販売にたずさわるすべての関係者は一切の責任を負いません。

●車両などの運転中に測定をおこなわない

・思わぬ事故を起こすおそれがあります。
・車両の運転中に本製品を使用したことによる事故の責任に対して、本製品の製造者および販売にたずさわるすべての関係者は一切の責任を負いません。

⚠ 警 告

●乳幼児の手の届かない所に保管する
・マウスピースなどを飲み込むと窒息死の原因になります。

●分解は絶対にしない
・火災や作動不良、故障の原因になります。

●水洗いや濡れた手で取り扱わない
・内部に水が入ると、故障の原因になります。

●複数の人でマウスピースを使い回さない
・衛生面に問題があります。

⚠ 注 意

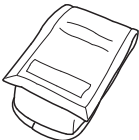
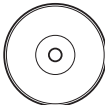
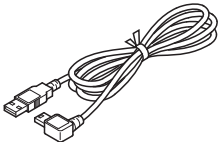
●強い衝撃や振動を与えない
・正確な測定ができなくなったり、故障の原因になります。

●シンナーやベンジン、アルコールなどの有機溶剤は絶対に使用しない
・正確な測定ができなくなったり、故障の原因になります。

●スプレーなどを吹きかけない
・正確な測定ができなくなったり、故障の原因になります。

●タバコの煙を直接本体に吹きかけたり、タバコの煙を吹き込んだりしない
・正確な測定ができなくなったり、故障の原因になります。

●殺虫剤やクリーニング剤を直接本体に吹きかけない
・正確な測定ができなくなったり、故障の原因になります。

●高濃度のアルコール（飲食直後）を連続的に吹き込まない
・正確な測定ができなくなったり、故障の原因になります。

●電磁波が発生する場所や機器へ近づけない
・保存されているデータが消失したり、故障の原因になります。

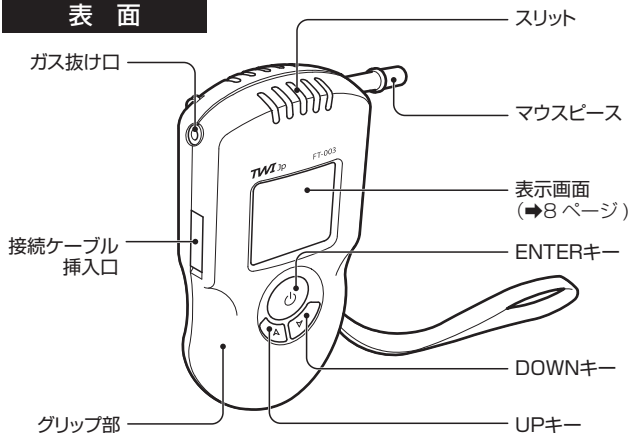
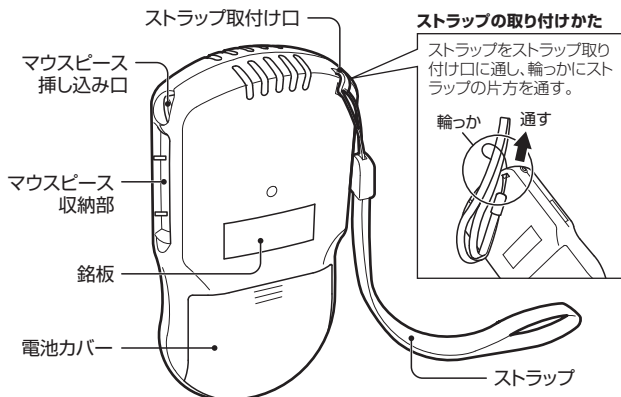
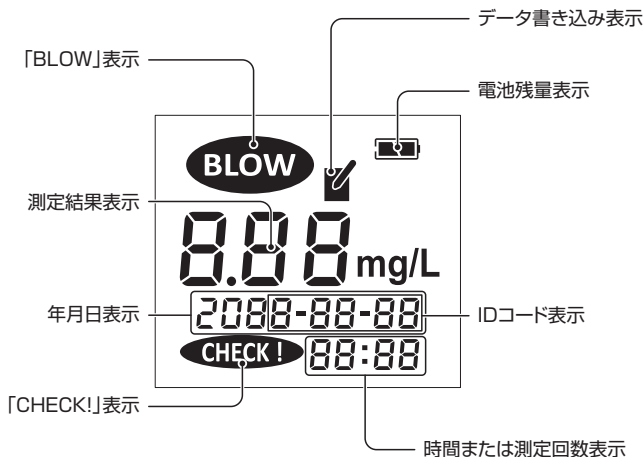
商品構成

・本体および付属品がそろっていることを確認してください。
・万一、不足の品や不良品などがありましたら、株式会社メルモに連絡してください。
（➡ 31 ページ）

本体	ソフトケース
パソコン管理ソフトの取扱方法は、CD 内にある電子マニュアルにしたがってください。 CD（パソコン管理ソフト） ＊Windows 専用	マウスピース（逆止弁付き）…3 個
USB 接続ケーブル	ストラップ
単４形アルカリ乾電池…2 本	取扱説明書（本書） 保証書

各部のなまえ

表　面

スリット
ガス抜け口
マウスピース
FT-003
TWI Jp
表示画面
（➡8 ページ）
接続ケーブル
挿入口
ENTERキー
DOWNキー
グリップ部
UPキー

裏　面

表示画面

【全点灯表示】

「BLOW」 …………点灯中に息を吹き込んでください。吹き込み中は点滅に変わります。

「CHECK!」 ………点灯したらメンテナンスを依頼してください。

「データ書き込み」 …ＰＣと接続し測定データや運転者情報の転送作業をおこなっている際には、絶対に USB 接続ケーブルを抜かないでください。
故障の原因となり、修理は有償となります。また、測定したデータが消失することがあります。

ご使用前の準備

・本製品を使用する前に、必ず以下の作業をおこなってください。
・パソコン管理ソフトの取扱説明書は、付属の CD 内に電子ファイルで保管されています。

チェッカー本体

乾電池をセットする（➡10 ページ）
↓
年月日・時間をセットする（➡13 ページ）
↓

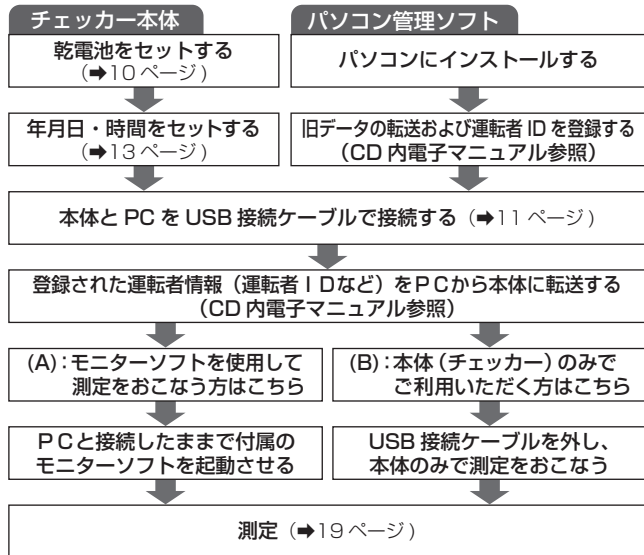
パソコン管理ソフト

パソコンにインストールする
↓
旧データの転送および運転者 ID を登録する（CD 内電子マニュアル参照）
↓

本体と PC を USB 接続ケーブルで接続する（➡11 ページ）
↓
登録された運転者情報（運転者ＩＤなど）をＰＣから本体に転送する（CD 内電子マニュアル参照）
↓

(A)：モニターソフトを使用して測定をおこなう方はこちら
↓
ＰＣと接続したままで付属のモニターソフトを起動させる
↓

(B)：本体（チェッカー）のみでご利用いただく方はこちら
↓
USB 接続ケーブルを外し、本体のみで測定をおこなう
↓

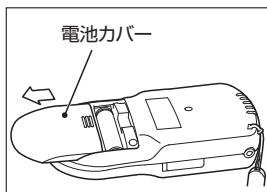
測定（➡19 ページ）

・(A)、(B) どちらの場合でも、測定をおこなっただけではデータはPCに転送されませんので、定期的に本体からPCへのデータ転送作業をおこなってください。
・運転者情報に更新（新規登録など）があった場合は、速やかに各チェッカーへの情報転送作業をおこなってください。

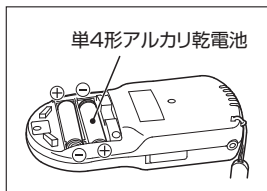
本製品に付属のパソコン管理ソフトですが、随時バージョンアップされる予定です。お手数ですが、より快適にご利用いただくためにも、下記 HP にアクセスしていただき、随時ソフトの更新作業をお願い致します。

　アクセス先：株式会社メルモ　http://www.o-l-o.jp/up_date.php
もしくは YAHOO! から[メルモ　アルコール]で検索の後、メルモのトップページ左下の「管理ソフトアップデート」からお進みください。

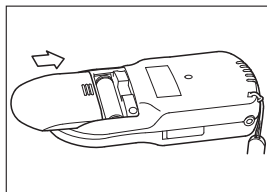
■乾電池の入れかた

1 本体背の電池カバーを取り外す

電池カバーを矢印の向きに取り外します。

2 新品の乾電池を入れる

古い乾電池が入っている場合は、取り出し、新品の単４形アルカリ乾電池２本を入れます。

3 電池カバーを取り付ける

電池カバーを元通りに取り付けます。

※乾電池を入れた際、表示画面チェックのために３秒間全点灯します。この間は操作できませんので、表示が消えてからご使用ください。

ENTER キーを押して表示画面に▲が表示されたときは、乾電池が消耗しています。新しい単４形アルカリ乾電池２本と交換してください。

そのまま使用し続けますと、□が３秒間点灯表示し、表示画面が消え、使用できなくなります。

※電池マークの表示は右記の三段階です。　（正常）➡（交換）➡（使えません）

■ USB 接続ケーブルのセットのしかた

実施

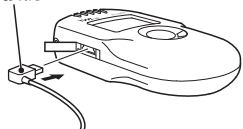
必ず付属の USB 接続ケーブルをご使用ください。その他のケーブルを使用されますと故障の原因となり有償修理が必要です。

1 USB 接続ケーブル挿入口カバーを開ける

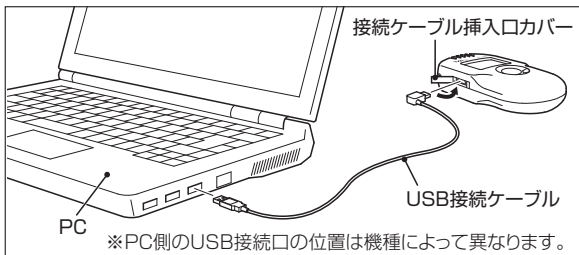
USB 接続ケーブル挿入口カバーにツメを引っ掛けて、図の矢印の向きに開けます。（ケガをしないよう注意してください。

2 USB 接続ケーブルと本体を接続する

USB 接続ケーブルの miniUSB 側をチェッカー本体に差し込んでください。

※ USB 接続ケーブルの反対側（PC 接続側）は本体には差さりませんので、ケーブルの向きにご注意ください。

3 USB 接続ケーブルと PC を接続する

USB 接続ケーブルの USB 側を PC 本体に差し込んでください。

※PC側のUSB接続口の位置は機種によって異なります。

USB 接続ケーブルを取り外すときは、「USB 接続ケーブルのセットのしかた」と逆の要領でおこなってください。

⚠ 警 告

実施

●乾電池を入れるときは極性（⊕と⊖の向き）に注意する
・乾電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります。

禁止

●性能や種類の異なる乾電池や、新しい乾電池と使用した乾電池を混在して使用しない
●「使用推奨期限」を過ぎた乾電池や、使用済みの乾電池を入れたままの状態にしない
●充電式（Ni-Cd）電池、オキシライド乾電池、マンガン乾電池は使用しない
・乾電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります。

実施

●乾電池は、乳幼児の手の届かない所に保管する
・飲み込むと窒息死の原因になります。

禁止

●乾電池はショートさせたり、分解や加熱したり、火や水に入れるなどをしない
・発熱、液漏れ、破裂などを起こし、けがや、やけどの原因になります。

■電池の寿命について

●付属の電池はテスト用ですので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。

■電池交換時のご注意

●本製品の電池を交換された際、新しい電池を入れても電池が新しく交換されたことが認識できない場合があります。
（新しい電池を入れても電池マークが元に戻らない）
そのような場合は、一旦電池を外した後、20 秒以上経過してから新しい電池を入れ直してください。

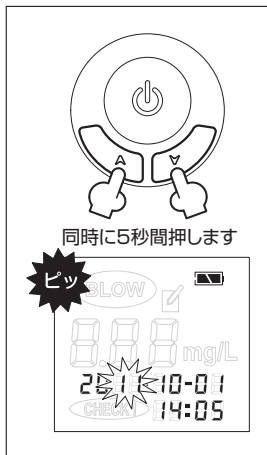
※製品内部に時計用のボタン電池を内蔵しているため、電池を外しても設定された日時はそのまま保持されます。（内蔵電池は交換できません）

■年月日、時間の設定のしかた

・本製品を使用する前に日時を設定してください。

1 UP キーと DOWN キーを同時に 5 秒間押す

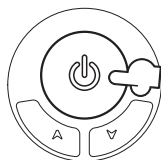
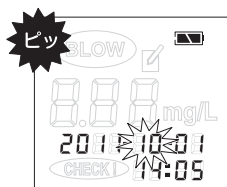
▼

表示画面に年月日、時間が表示され、西暦の下二桁が点滅します。

2 年を設定する

UP キーと DOWN キーを使って年を設定します。

※キーを押し続けると数値が早送りになります。

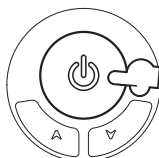
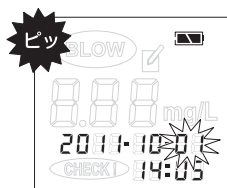
3 ENTER キーを押す

▼

年が確定し、月が点滅します。

4 月を設定する

UP キーと DOWN キーを使って月を設定します。

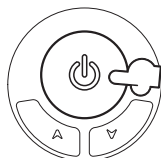
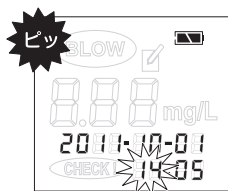
※キーを押し続けると数値が早送りになります。

5 ENTER キーを押す

▼

月が確定し、日が点滅します。

6 日を設定する

UP キーと DOWN キーを使って日を設定します。
※キーを押し続けると数値が早送りになります。

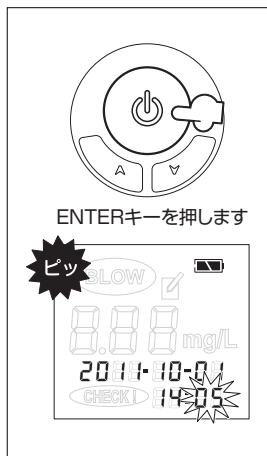
7　ENTER キーを押す

▼

日が確定し、時間が点滅します。

8　時間を設定する

UP キーと DOWN キーを使って時間を設定します。

※キーを押し続けると数値が早送りになります。

9 ENTER キーを押す

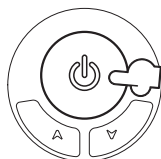
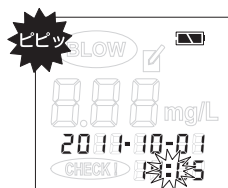
時間が確定し、分が点滅します。

10 分を設定する

UP キーと DOWN キーを使って時間を設定します。

※キーを押し続けると数値が早送りになります。

UPキー、またはDOWNキーを押して数値を設定します

11 ENTER キーを押す

年月日と時間が設定され、しばらくすると画面表示が消えます。

以上で年月日、時間の設定が完了です。

測定のしかた

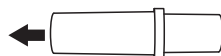
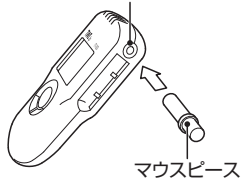
準　備

POINT PCとの接続が無くても、本体のみでの測定が可能で、本体内部にもデータをメモリーすることが可能です。

1　マウスピースを取り出す

本体のマウスピース収納部からマウスピースを取り出します。

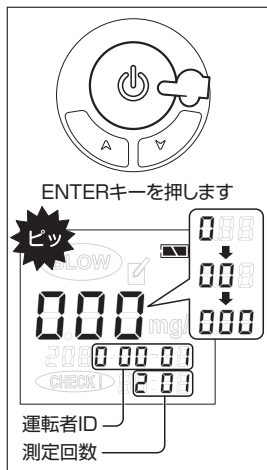
2　マウスピースを差し込む

本体のマウスピース差し込み口にマウスピースを差し込みます。

POINT 本体に付属されているマウスピースは逆止弁機能付きです。息を吹き込む事はできますが、吸い込む事はできませんのでご注意ください。（逆方向には吹き込めません）

測定開始

3 ENTER キーを押す

「ピッ」と音が鳴りウオーミングアップが始まり、表示画面に「0」→「00」→「000」と表示されます。

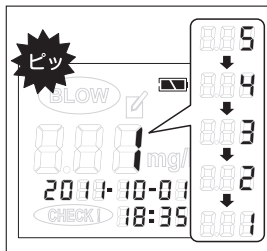
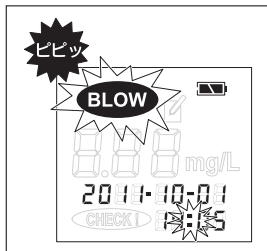
※同時に運転者 ID と測定回数が表示されますので、必ず自分の運転者 ID が表示されたことを確認してください。

POINT この間しか運転者 ID は表示されませんのでご注意ください。

初回起動時のみは「－ －－ －－」が表示され、運転者 ID が転送された以降は運転者 ID が表示されます。運転者 ID が表示されている3秒以内に UP キーまたは DOWN キーを使って自分の ID を選択して ENTER キーで決定してください。

注：3秒以内にスイッチ操作が無かった場合は、その時に表示されている運転者 ID で決定され、自動的に測定画面に進みます。この時、もし選択したい ID と違った場合は ENTER キーを押して一旦終了し、再度やり直してください。

〈運転者IDが登録されている場合〉

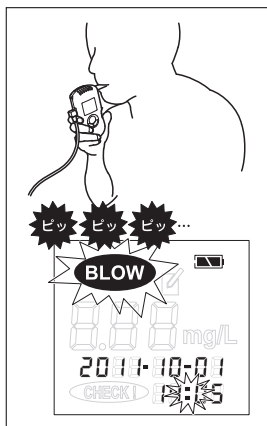
「ピッ」と音が鳴りカウントダウンが始まります。

※通常は「5」から始まりますが、長い間使用していない場合や前回の測定結果が高い値を示した場合、前回の測定がＥｒｒの場合、または保管状態によっては「２０」から始まります。

「ピピッ」と音が鳴り表示画面に「BLOW」が表示され、測定可能状態になります。（5 秒間）

ここまでの途中で測定を中止したい場合、再度 ENTER キーを押すと測定を中止することができます。
（測定回数にはカウントされません）

4 マウスピースに息を吹き込む

測定可能状態の 5 秒以内にマウスピースをくわえ、息を吹き込みます。

▼

「ピッピッピッ…」の連続音が鳴っている間、5 秒以上一定の強さで息を吹き込みつづけてください。

MEMO

●測定時の正しい持ちかた

測定時に本体を正しく持たないと正確な測定ができません。

グリップ部から指がはみ出さないように握ります。

測定時にガス抜け口をふさいでいると正確な測定ができません。

注：挿絵は「モニターソフト」使用時を想定したものであり、USB 接続ケーブルが接続されておりますが、チェッカー単体で測定する場合は USB 接続ケーブルが接続されていなくても**通常使用および測定には何ら問題はございません。**

5　息を吹き込むのをやめる

5秒以上吹き込みつづけると「ピピッ」と鳴って音が止まりますので、息を吹き込むのをやめます。

表示画面に測定結果が表示されます。データ書き込みマークが点灯し、約13秒経過後に画面の表示が消えますが、モニターソフトを利用しPCと接続してご利用の際には、この間は絶対にUSB接続ケーブルを抜かないでください。故障の原因となります。

※アルコールを検知した場合は「ピー」の連続音が約8秒間鳴りつづけます。

※遠隔地であっても、電話で「ピー」の音が確認できます。

以上で測定が終了です。

連続して測定する場合は、測定終了後必ず本体を左右に5～6回程度振ってから次の測定をおこなってください。

※測定をおこなっても、PC内に測定データは転送されておりませんので、必ずPCと本体を接続し、データの転送作業をおこなってください。（この操作はいつでもできますので、まとめておこなうことが可能です）

●「Err」が表示され、測定できない場合

28ページのこんなときはの[「Err」が表示される]を参照し、20ページの「**3**　ENTERキーを押す」の項からやり直してください。

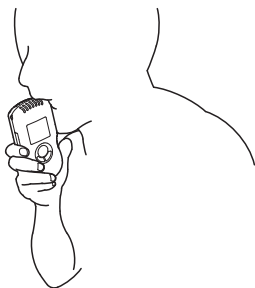
●飲酒していないのに測定値にアルコールが検出される場合

28ページのこんなときはの[飲酒していないのに飲酒した測定結果が表示される]を参照し20分程度時間をあけた後、20ページの「**3**　ENTERキーを押す」の項からやり直してください。

●明らかに飲酒しているのに、測定値にアルコールが検出されない場合

28ページのこんなときはの[明らかに飲酒しているのに、飲酒した測定結果が表示されない]を参照し、20ページの「**3**　ENTERキーを押す」の項からやり直してください。又は、故障の可能性がありますので、購入された販売店までご連絡ください。

■マウスピースを紛失した場合の測定方法

・本製品は、マウスピースを取り付けて測定するようにできています。しかし万が一、外出先でマウスピースをなくした場合、一時的措置として、直接本体のマウスピース差し込み口に息を吹き込むことも可能です。

お願い

●あくまでも一時的な測定方法ですので、必ずマウスピースを取り付けて測定してください。
マウスピースを取り付けないと正確に測定できない場合があります。

●マウスピースを取りつけずに何度も測定されますと、唾液などが本体内部に入り故障の原因となりますので、できる限りマウスピース無しでの測定は控えてください。

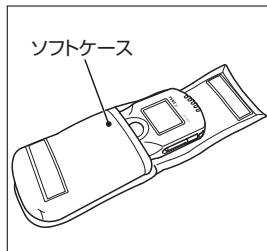
保管のしかた

本製品を保管するときは、必ず付属のソフトケースに収納してください。

1 マウスピースを収納する

マウスピースを本体から抜いて、本体のマウスピース収納部に収納します。

2 ソフトケースに収納する

本体をソフトケースに収納します。

禁止

次の場所には、保管しないでください。測定結果に影響を与えたり、故障する可能性があります。

- ●直射日光の強い場所、炎天下の車内、冷暖房器具のそばなど。
- ●温度や湿度の変化が激しい場所。
- ●化粧品や香水、芳香剤などの強いにおいがある場所。
- ●ほこりの多い場所。
- ●風の強い場所。
- ●空気の汚れている場所。

■長期保管について

・長期間使用しないときは、必ず電池を抜いて、付属のソフトケースに収納して保管してください。

⚠ 警 告

●長期間使用しないときは、乾電池を抜く

・乾電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります。

日常のお手入れ

本製品は精密計測機器ですので、汚れや強いにおいがある場合は、お手入れをしてください。

※汚れや強いにおいが残っている場合は、正確な測定ができません。

本体

●乾いた柔らかい布でふいてください。

●水や洗剤、消毒剤は使用しないでください。
●シンナーやベンジン、アルコールなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
●分解や水洗いは、絶対にしないでください。

マウスピース

●水またはお湯で洗い、しっかり乾燥させてください。

●熱湯や洗剤、消毒剤は使用しないでください。
●シンナーやベンジン、アルコールなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
●濡れたままでは使用しないでください。

■動作のチェック方法について

月に1回程度、本製品の動作を確認するために、以下の作業をおこなってください。

●市販の口腔内洗浄剤（マウスウォッシュなど）で口をゆすぎすべて吐き出した後で、本製品にて測定をおこなってください。（絶対に液体を吹き込まないでください）

●洗浄剤に含まれているアルコールに反応して値が表示されます。これで本製品が正常にアルコールに反応していることが確認できます。

●その後、本体を４～５回左右に振り、更に電源を入れて測定せず、自動的に電源がオフになるのを数回繰り返してください。（チェックしたアルコールが本体内に残っている場合、正しく測定できませんので、そのアルコールを除去する作業です）

こんなときは

修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

症状	確認	対処
飲酒していないのに飲酒した測定結果が表示される	・喫煙後、すぐに測定しませんでしたか。	・約 10 分以上経過してから測定し直してください。
	・飲食後、すぐに測定しませんでしたか。	・食べ物や飲み物によっては、アルコールを表示する場合があります。20 分以上経過してから測定し直してください。
	・洗口剤や歯磨き粉を使用した後、すぐに測定しませんでしたか。	・水でよくうがいをしてから測定し直してください。
	・「体調がすぐれない」と感じていませんか。	・体内で発酵したガスに反応する場合があります。何度測定しても飲酒結果が表示される場合は、業務管理者の方とご相談ください。
	・薬を服用していませんか。	・服用する前に測定してください。
	・高濃度のアルコールを吹きかけませんでしたか。	・アルコールの影響がなくなるまで、測定をしないでください。
	・定められた「保管のしかた」以外で保管していませんか。	・電源を入れ測定をおこなわずに自動的に電源がオフになるのを4～5回繰り返してください。
明らかに飲酒しているのに飲酒した結果が表示されない	・測定回数が 3,000 回を超えていませんか。	・有効測定回数は 3,000 回までです。すぐに定期点検（製品交換）を依頼してください。
	・使用期間が1年間を超えていませんか。	・有効使用期間は 1 年間までです。すぐに定期点検（製品交換）を依頼してください。
	・連続的に測定していませんか。	・測定間隔を少しあけてください。 ・本体を左右に5～6回振ってから測定してください。
	・落下、衝撃、水濡れ、高温放置などはありませんでしたか。	・本体が故障している可能性があります。すぐに修理を依頼してください。
「Err」が表示される	・測定可能状態になってから5秒以上経過しませんでしたか。	・5 秒以内に吹き込みを開始してください。
	・途中で息を吹き込むのを中止しませんでしたか。	・「ピピッ」音がなるまで（約 5 秒）、息を吹き込み続けてください。
	・息の吹き込みに、強弱をつけませんでしたか。	・一定の強さで息を吹き込んでください。
	・ガス抜け口をふさいでいませんか。	・正しい持ち方で測定してください。
表示画面に何も表示されない	・乾電池が消耗していませんか。	・新しい乾電池と交換してください。
	・乾電池を入れる方向は合っていますか。	・電池マークを見て、正しい方向にセットしてください。

仕様

項目	内容
検知方式	半導体ガスセンサー
対象ガス	呼気中アルコール
測定範囲	0.00、0.05 ～ 0.25 mｇ /L
サンプリング方式	チェッカー吹き込み口への呼気吹き込み方式
起動・終了	ENTER キーにより自動スタートおよび オートパワーオフ
測定待ち時間	電源投入後５秒または 20 秒の自動切替
吹き込み時間	約 5 秒
LCD 表示	日付・時間・ＩＤコード・測定待ち時間・測定結果・電池残量など
外部出力	ＵＳＢ接続ケーブルにてＰＣと接続
電源	単 4 形アルカリ乾電池× 2
電池寿命	約 700 回程度
使用温度範囲	0 ～ 40℃ （湿度 80%以下、結露なきこと）
保管温度範囲	－ 20 ～ 60℃ （湿度 80%以下、結露なきこと）
外形寸法	120(H) × 60(W) × 25(D) mm
質量	約 110g（単 4 形アルカリ乾電池 2 本含む）

※仕様・外観は商品改良のため、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

別売品

別売品のお求めは、本製品をご購入いただいた販売店にお問い合わせください。

品名	品番	価格
マウスピース逆止弁付き（10 個入り）	AMP －003	800 円

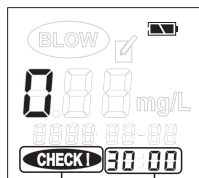
定期点検（製品交換）

本製品は、定期点検（製品交換）をおこない測定精度を一定に保つ必要があります。その際、定期点検として製品交換をおこないます。（新品同様 1 年間の動作保証付。改めて新品を購入する必要はありません）

※下記に示す定期点検時期を超えた場合は、有効保持ならびに測定精度の保証はいたしませんのでご注意ください。

定期点検時期

次の条件のどちらかに達した場合は、必ず定期点検を依頼してください。（有償対応：14,000 円）

●測定回数が 3,000 回を超え、動作時の表示画面に「CHECK!」が表示された。（電源投入時に「ピー」音が鳴り、音でもお知らせします）

「CHECK!」表示

測定回数

1人で1台を使用した場合：3,000 回使用可能
2人で1台を使用した場合：平均1人 1,500 回使用可能
10人で1台を使用した場合：平均1人 300 回使用可能

※複数名で1台のチェッカーを使用した場合でも、1台の累計測定回数が 3,000 回に達するとメンテナンスの時期となりますのでご注意ください。

※測定回数が 2,800 回を越えると「CHECK!」が点滅しはじめ、定期点検時期が近いことをお知らせします。

※ 3,000 回を超えても測定は可能ですが、データの保存は 3,500 回までしかできませんので本定期点検をお受けください。

●購入してから 1 年が経過した。

定期点検（製品交換）のお問い合せは　06-4799-9690
株式会社メルモ　お問い合わせならびに受付フォーム➡http://m.o-l-o.jp
〔受付時間〕月～金曜日（土・日・祝日・年末年始を除く）
9：00 ～ 17：00

アフターサービス（修理）

アフターサービスをご依頼される前に、今一度この取扱説明書をよくお読みください。それでも異常がある場合は、販売店または、株式会社メルモにご相談ください。

■保証書

・修理には保証書が必要です。必ず「販売店、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり､保証書をよくお読みのうえ､大切に保存してください。

・保証期間は、お買い上げ日から 1 年間、または測定回数 3000 回（「CHECK!」点灯まで）のどちらか早いほうです。

■保証期間中に修理を依頼されるとき

・もう一度この取扱説明書をよくお読みいただきご確認のうえ、なお異常があるときには、お求めの販売店、または株式会社メルモに修理を依頼してください。

・修理を依頼される場合は次の内容をご連絡ください。
　○品名、品番　　○故障・異常の内容（できるだけ詳しく）
　○お買い上げ日　○お名前、ご住所、電話番号

■保証期間内であっても、次のような場合は有償修理になります

・保証書の提示がない場合
・定められた保管方法以外の方法で保管した場合
・車内などの高温な場所に放置した場合
・データを書き込み中にＵＳＢ接続ケーブルを抜いた場合
・お客様が本体を分解した場合
・水に濡れた場合
・シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤を使用した場合
・殺虫剤やクリーニング剤を直接本体に吹きかけられた場合
・落下や強い衝撃などを受けた場合
・定められた電池以外のものを使用した場合
・火災、転載、異常電圧による場合

■保証期間経過後に修理を依頼されるとき

・お求めの販売店または株式会社メルモにまずご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理いたします。

修理のお問い合せは　06-4799-9690
株式会社メルモ　お問い合わせならびに受付フォーム➡http://m.o-l-o.jp
〔受付時間〕月～金曜日（土・日・祝日・年末年始を除く）
9：00 ～ 17：00